



6/26 (火) オリーブの仲間たち：京都・太秦映画村でお待さんとともに

あゆみの家

No. 99号

障害者総合支援法

障害者自立支援法は本年八月一日に改正され、来年(2013年)春からは「障害者総合支援法」に変わることになりました。

新たな総合支援法では、難病患者が障害福祉サービスの対象になることや、重度の肢体不自由者に限られていた「重度訪問介護」の対象に知的障害者・精神障害者が含まれるようになること、ケアホームがグループホームに一元化されることなどが決まりました。

昨年八月末に障害者総合福祉部会によって取りまとめられた「骨格提言」を踏まえ、新たな「障害者総合福祉法」が整備されるものと想定されていただけに、自立支援法の改正による「総合支援法」の成立には多くの関係者の落胆するところとなりました。

支給決定のあり方や障害福祉サービスのあり方など提言内容のいくつかは、総合支援法の中で今後の検討課題とされました。障害福祉制度の改革はこれからまだまだ続きます。障がいのある一人ひとりが、地域の中で安心して暮らして行けるようになるために、関係する人たちが、改革のために必要な声をあげ続けていくことが求められます。

大きな変化(その2) あゆみの家の今・昔

理事 ベルニダ・ポーマン



“誰々さん”と呼ばれる方がよいという考えになりました。そして、利用者も“さん”で呼ばれるようになりました。それは個々の利用者に対する尊敬の気持ちからでした。当初から、あゆみの家では一人ひとりにふさわしい作業を見つけてるように努めてきました。私たちは仕事を通して、生きる喜びや目的を見つけ出します。利用者は、苗ポットの作業や端切れを使って鍋敷を縫ったり、他の工芸品を作ったりしました。スタッフと利用者のグループに、私がチョコチップクッキーの作り方を教えた時もありました。一ヶ月に1回、数年間取り組みました。このことが、その後、ぐっどらんのクッキー作業につながりました。大垣友の会のメンバーは月に一度あゆみの家に来て、パンの焼き方を教え、その後、すまいるらんの作業につながりました。かなりの間、第二あゆみの家の利用者は何力所かに別れてグループ作業をしていましたが、最近では、第二あゆみの家の新しい作業棟が建ち、同じ建物で一緒に作業できるようになりました。デイセンターあゆみの家の作業室では、一人で落ち着いて作業ができる環境の工夫がされています。

今年の7月からは、喫茶店とリサイクル品販売の店「と利用者の仕事の場所になりました。ここも、保護者会も変わりました。会員数が増えただけでなく、取り組む活動内容も変わったのです。第二あゆみの家がで

きてから、私はお母さんたちにクッキーやケーキ、ジャムの作り方を教えました。月に一度、数年間にわたって講習を続け、私もお母さん方と知り合いになれることが楽しみでした。今では、バザーの時になると、おかあさんたちは各種ケーキ、クッキー、ジャムを作ります。こうしたことはどれも注目すべきことですが、お互いに相手のためにできることが保護者会の一番大きな強みだと思います。交流が深まり、思いを分かち合うことができず。同時に、同じ体験を持つ他の人たちと困難を分かち合うこともできます。相互のつながりが深まれば、孤独感が軽減されるかもしれません。そして、あゆみの家が子ども達の暮らす場としてもっと快適な場所になるように、さまざまなおアイデアを分かち合うことで、あゆみの家をもっと変えることができます。

利用者や建物も増え、あゆみの家は何年もかかって大きく変わってきました。理事会やスタッフは、今も、関わる一人ひとりの利用者の暮らしや作業がもっと良くなるようにと頑張っています。

変化は良いことです。でも私があゆみの家に決して変わってほしくない面もあります。あゆみの家ができるとき、夫ジョンの一番の目的は、あゆみの家が神様の愛によって利用者の支援をする場所になることでした。私たちがイエス様の愛を経験すると、他の人たちをもっと愛し、支援できるようになります。毎朝、あゆみの家はスタッフと利用者で、短い祈りの時を持っています。

スタッフは仕事を始める前に、よりよい仕事ができるように神様からの愛と強さを求めて祈ります。私があゆみの家に行く時はいつでも、スタッフが一人ひとりの利用者を本心に愛していることがわかります。彼らは共に食べ、共に働き、一緒に楽しんでいくことができます。神様の愛。スタッフが利用者に示す敬意と愛はすぐわかります。これが、あゆみの家が決して変わらないようにと私の祈ることです。

「たいやきくん」の活動について

デイセンターあゆみの家 生活支援員 櫻井 章

デイセンターあゆみの家では、『たいやきくん』という名称で、社会で生活するために必要な知識や経験を自分たちの力をもとに学んでいく活動を行っています。

活動の内容から、参加される方は5人という少人数に絞っていますが、意見やアイデア、活動の感想などを密に引き出すことができている。参加されている方が関ヶ原町に関係が深いことから、現在は、関ヶ原町のことを調べながら町のマップづくりを行っています。

でも、ただマップを作るだけではつまらないので、みんなで意見を出し合ったところ、

『町の掃除をしようか』という意見が出ました。『たいやきくん』の社会貢献の足跡を、マップに、町に、そして町の人々に残すためにも、町の清掃活動を一生懸命がんばっています。もし、関ヶ原町で私たちの活動を見かけたら、声をかけてください。



移り行く季節を感じていただくために

デイセンターあゆみの家オリーブ 右馬野 将高

日本には、日本ならではの季節感があります。植物や食べ物などといった自然の恵みから、その季節を感じさせる行事があったり、果ては文章を書く時の始めの季節に迷ったり…。どんな人でも移り行く季節を感じ取ることで、それが暮らしを楽しむための生活のリズムへとつながっているように思います。



デイセンターあゆみの家オリーブでも、利用者の皆さんが「気持ちがあたたかくなって心もフキウキしてきそう」という思いを感じていただけるように、日頃の活動に季節感を取り入れるように心がけています。

4月には何度かお花見に出かけました。ポカポカ陽気の日やまだ少し肌寒い日もありましたが、そつた気候の変化も感じながらこの時期にしか見られない桜を見物し春を感じてきました。本物の桜の花びらを手に取ったりして自然とふれあうこともでき、晴れ晴れとした気持ちで外出を楽しむことができました。



5月にはオリーブの活動室内に、利用者の皆さんといっしょに色付けをした「手づくりのこいのぼり」を作り、天井に飾り付けをして、今の季節を室内でも感じられるような工夫をしてきました。

これからも、日頃の活動を通して、オリーブの利用者の皆さんにも刻々と変わり行く季節の楽しさを感じていただけるような支援に努めていきたいと考えています。

八丁みそ工場見学とメロン狩りに行って来ました。

すまいるらんど

六月九日に日帰り旅行に行って来ました。仲間と過ごす楽しい時間は、いつもあつという間です。たくさんの経験をjして楽しかったです。

みんなでハイポーズ

すまいるらんど



沢山の中から、このメロンに決めた！！

たくさんの思い出を作ってきました。また来年までのお楽しみです



工場見学と試食。
みそ樽は大きくて驚きました



お花見 (大垣市船町にて)



新商品
「わらびもち」ゼリー
「オランダクッキー」等

ぐっどらんどは今年の四月より、デイセンターあゆみの家の分場から定員二十名(現員十九名)の生活介護事業所に移行しました。活動面や職員
の支援体制に変わりはなく、職員五名でクッキー作業グループと工賃作業
グループに分かれて利用者十九名の作業支援にあたっています。ただひと
つ変わった点をあげれば、二名のクッキー担当職員の一部が異動で入れ替
わったことでしょうか。
新しい職員らの新鮮な発想や試みが、少しずつ店内のレイアウトや新製
品の開発などに生かされ、これからのクッキー作業が楽しみです。また、
販売先の開拓にも余念がなく、工賃グループの取引先の業者さんで販売さ
せていただくこともあります。毎回従業員の人たちが心待ちして販売を楽
しみにされています。このようにして、五名の利用者の人たちも新しい職
員を迎え、気持ちを新たに日々のクッキー作りに励んでいるところです。
工賃グループでは、十四名の利用者の人たちがパッキングや各種ウレ
タンのつまみとり、穴とり、ハンガーの組み立て等々、日替わりのように
入ってくるさまざまな仕事を、納期に追われつつも懸命に取り組んでいま
す。ひとり一人が少しでも、もっている力を発揮したり伸ばしたりできる
ようにと願いつつ、日々支援にあたる今日この頃です。

ぐっどらんど近況

管理者 酒井 静男

「オアシス」生活介護事業所として再出発



精神障がいの方のための作業所「オアシス」はこれまであゆみの家の公益事業として歩んできました。今年の4月より、デイセンタ―の新事業移行に伴い、生活介護事業所「すまいるらんど」の従たる事業所として新たにスタートすることになりました。

「オアシス」が大事にしてきた、「お互いを認め合う、助け合う、疲れたときには休息し、つぎのステップを踏み出す力を養う」事を忘れず、これからも「オアシス」を必要とする人が喜んで集える場所であり続けたいと思います。

長年の願いであった喫茶店「とうだいまえ」が七月十七日オープンしました。

場所は、大垣市船町「住吉燈台」の東側です。メンバーの人たちは期待と不安をもちながらのスタートです。多くのお客様に愛され、安心して集い働ける場となることを願っています。喫茶店の隣りには、リサイクル品のお店もあります。



とうだいまえ開所式の様子

西濃福祉の店イメージキャラクター

「ふ〇りちゃん」が初登場



デザインした大野沙也加さん(右)に記念品を渡すふ〇りちゃん=大垣市林町、アクアウォーク大垣

西濃福祉の店「ふ〇り」に

ゆるキャラ登場!

風船配り店PR

西濃地域の授産施設などで作られた製品を販売する西濃福祉の店「ふ〇(わ)り」のイメージキャラクター「ふ〇りちゃん」が、大垣市林町のアクアウォーク大垣内の同店に初めて登場し、買い物

客らを楽しませた。

キャラクターは昨年、同店が1周年を迎える節目に親しみやすい店にしようとして公募。大垣女子短期大学デザイン美術科の当時2年生だった大野沙也加さん(20)が各務原市蘇原

月丘町のデザインが採用された。

きふ清流国体・きふ清流大会のマスケットキャラクター・ミナモも、ふ〇りちゃんと共に同店を訪れ、大野さんに記念品を贈った。この後、買い物に来た子どもたちに風船を配るなどして店をP

二〇一二年四月二十九日 岐阜新聞記事

出来事ピックアップ



西濃向生園とのソフトボール交流試合
第二あゆみの家 (6/2)



デイセンター 日帰り旅行 (6/9)
東山動物園他



第二あゆみの家
花いっぱい運動 (5/28)



すまいるらんど日帰り旅行 (6/9)
八丁みそ工場 (岡崎) 見学他



林町デイセンター (6/9)
ボランティアの方による太鼓の体験



デイセンター・第二あゆみの家
合原小との交流 (6/13)

貸借対照表

2012(平成24)年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部	負債の部		
	決算額	決算額	
流動資産	226,108	流動負債 33,024	
固定資産	1,047,997	固定負債 75,625	
基本財産	451,205		
他の固定資産	596,792	負債の部合計 108,649	
		純資産の部	
		基本金	247,662
		国庫補助金等特別積立金	206,619
		その他の積立金	465,444
		次期繰越活動収支差額	245,731
		純資産の部合計	1,165,456
資産の部合計	1,274,105	負債及び純資産の部合計	1,274,105

社会福祉法人あゆみの家
二〇一一年(平成二三)年度
決算報告

社会福祉法人あゆみの家では、二〇一二年五月一九日、決算理事会が開催され、二〇一一年度事業報告、及び決算が承認されました。その決算内容を報告いたします。

二〇一一年度は、十月に創立四〇周年を迎え記念行事を大垣フォーラムホテルで開催することができました。

林町デイセンターは、生活介護事業の平均利用者数が、二三、八人となり、三年目ではほぼ定員が満たされました。

一年を通して各施設・事業所の活動が滞りなく実施できましたこと、皆様のお祈りとご支援に感謝申し上げます。

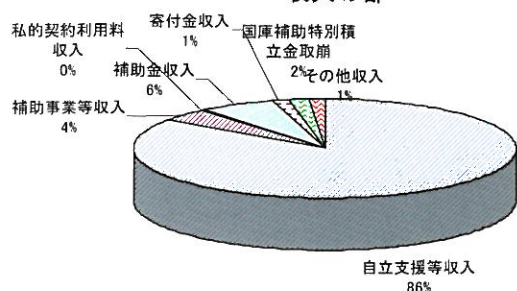
事業活動収支計算書

2011年4月1日～2012年3月31日

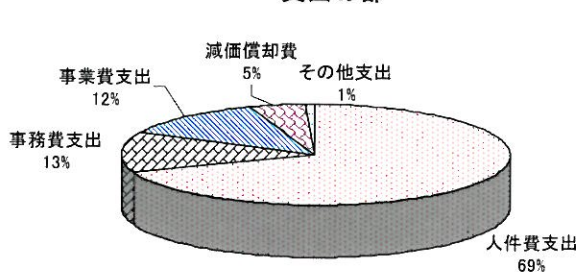
単位 千円

勘定科目	決算額	本部								
		本部	デイセンター	第二あゆみ	重心通園	おおぞら	きずな2006	移動支援	相談支援	林町デイ
自立支援等収入	564,505		126,588	262,306		5,687	113,938		127	55,859
補助事業等収入	27,644		3,615	12,647		745	6,662	2,902		1073
私的契約利用料収入	1,247				160	1,087				
経常経費補助金収入	42,102	300	14,136	7,962	19,704					
施設整備補助金収入	0									
寄付金収入	9,351	9,153	79	60			41			18
施設整備等寄付金収入	0									
退職給与引当金戻入収入	0									
国庫補助特別積立金取崩	10,788		4,719	3,459		63				2,547
その他収入	9,694	683	6,715	2,064	83	20	116			13
収入合計	665,331	10,136	155,852	288,498	19,947	7,602	120,757	2,902	127	59,510
人件費支出	403,680	320	100,451	163,040	15,468	11,679	77,130			35,592
事務費支出	76,759	6,673	29,883	27,731	2,715	1,526	5,691			2,540
事業費支出	71,134		16,967	26,376	1,546		22,927			3,318
減価償却費	27,519		9,309	13,366	113	371	840			3,520
引当金繰入	4,492		2,152	2,340						
その他支出	75									75
支出合計	583,659	6,993	158,762	232,853	19,842	13,576	106,588	0	0	45,045
当期活動収支差額	81,672	3,143	△ 2,910	55,645	105	△ 5,974	14,169	2,902	127	14,465

収入の部



支出の部



行事予定

8/11 (土) 夏祭り

ボランティア (2/16~6/20)

★ 延べ: 72回 117人

(団体: 28人・個人: 89人)

<ボランティア団体名、学校名>

(順不同)

養老日赤、静里日赤、友の会

最近のできごと (4/1~7/20)

- 4/7 (土) あゆみの家創立記念行事
- 4/28、29 (土/日) あゆみの家バザー
- 5/28 (月) 花いっぱい運動 (第二)
- 6/2 (土) 西農向生園とソフトボール交流試合 (第二)
- 6/9 (土) 日帰り旅行 (デイセンター)
日帰り旅行 (すまいるらんど)
ボウテイの方による太鼓体験(林町デイ)
- 6/13 (水) 合原小との交流 (デイセンター・第二)
- 7/7 (土) 「とうだいまえ」開所式
- 7/17 (火) 「とうだいまえ」喫茶店オープン

あゆみの家バザーの会計報告と御礼

4月28、29日の両日、垂井町文化会館で行われた春のバザーについて、ご報告をします。

皆様方の御動きとご協力に心より御礼申し上げます。これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総売上	1,370,076円
諸経費	171,924円
差引雑利益	1,198,152円

「とうだいまえ」オープンの記事が 岐阜新聞に掲載されました

岐阜新聞 2012年(平成24年)7月10日 火曜日

町家活用の店、働く場に



垂井町の喫茶とリサイクル
社団法人あゆみの家(垂井町船町)が、06年11月に開設した町家活用の店、働く場に「とうだいまえ」を開業した。町家の歴史を伝えるとともに、高齢者の就業機会を創出する。町家の歴史を伝えるとともに、高齢者の就業機会を創出する。

大垣市船町に事業所17日開所

町家の歴史を伝えるとともに、高齢者の就業機会を創出する。町家の歴史を伝えるとともに、高齢者の就業機会を創出する。町家の歴史を伝えるとともに、高齢者の就業機会を創出する。

編集後記

「とうだいまえ」がオープンしました。この事業所は、精神障がい者の作業所「オアシス」の利用者のみなさんが長年夢見てきた自分たちが働く喫茶店がようやく実現したものです。場所は、大垣市船町の住吉燈台のすぐ東側、その場所にちなんで「とうだいまえ」と名付けられました。この喫茶店がオープンすることを聞かれたある方から、この燈台の切絵(写真)を寄付していただきました。さっそく、この喫茶店の入り口近くに飾りました。このお店が、この燈台に光照らされ、いつも明るくなおやかなところになることを願っています。(小林)



編集: 社会福祉法人あゆみの家

URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

各種地域ホームのご案内

●○グループホーム・ケアホーム

- | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| ● あゆみホーム
Tel 0584-82-3056 | ○ めぐみホーム
Tel 0584-22-4345 | ● 荒尾ホーム
Tel 0584-91-2871 | ○ 岩手ホーム
Tel 0584-22-3032 | ● いなばホーム
Tel 0584-92-0792 |
| ● 青柳ホーム
Tel 0584-89-6231 | ○ 静里ホーム
Tel 0584-92-2405 | ● 表佐ホーム
Tel 0584-23-3305 | ○ 大門ホーム
Tel 0584-22-5079 | ● あいかわホーム
Tel 0584-23-0822 |